

東海大学医学部付属病院では、
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を
共同研究機関により提供を受けて、下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。
当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

破裂椎骨動脈解離性脳動脈瘤の血管内治療後に脳幹梗塞を生じた症例の検討

【研究の目的】

下記の診療情報等を利用し、破裂椎骨動脈解離性脳動脈瘤の血管内治療の治療成績を向上することを目的とした研究を実施するためです。

【研究の対象となる方】

2003年1月1日 から 2020年6月1日までの間に、
当院で破裂椎骨動脈解離性脳動脈瘤の血管内治療を行った方です。

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2020年12月31日まで

【研究に用いる診療情報等の項目】

・診療情報等：診断施設、診断日、年齢、性別、発症前 mRS（発症前の患者さんの生活状況）、脳血管撮影所見、実施治療法、コイル塊の距離、技術的成功、治療の合併症、合併症の転帰、退院時 mRS(退院時の患者さんの生活状況)を調査し、最終評価としてイディングカテーテル誘導の時間短縮を調査します。

【情報の提供先・提供方法】

上記の診療情報等を当院で解析します。

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はない為、利益相反はありません。

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者】

- 研究代表機関：東海大学 医学部
- 研究代表者：脳神経外科 重松 秀明

【問い合わせ先】

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2300）

研究責任者 脳神経外科 重松秀明

問い合わせ担当者 脳神経外科 重松秀明